
福岡の思い出

ブータローの相棒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

福岡の思い出

【Nコード】

N1144B

【作者名】

ブーローの相棒

【あらすじ】

一年前、蘭と越水七槻が初めて出会ったときの話です。ひよつとするとあり得る話かもって思いながら読んでいただけると嬉しいです

（前書き）

初めてなので下手です・・・

――福岡県――

ちょうど一年前

ニューヨークの殺人事件後

有希子、新一、蘭で福岡へ行った。

「今日って日帰りか？」

「とりあえず、日帰りだけど・・・」

空港から去ってからの有希子と新一の会話である。

「ねえ、ねえ新一・・・」

あの通り魔は、自殺したの？」

「いや、わかんねえ・・・」

ひよとしたら殺人事件かもしれないんだ！」

「えっ…：…どういうこと？」

「今、警察が、殺人事件という線でも捜査しているんだ！

で、母さん・・・

どこ行くんだ？」

「んといろんなとこ・・・」

最初に、売店でお土産を買いに行こう！」

オイ…オイ

――売店――

混雑している。

四方八方に人が、
たくさんいる。

「あ、これ買おう

あ、でもこれも欲しい……

どうしよう……

まあいつか

全部買えばいいし……」

母さん、キーホルダーとか　たくさん買っているけど、

そんなにもいらねーだろ……

っ　たく……

蘭は、シャーペンとメモ帳が、あるほうに
行ったみてーだな！

おれは、母さんの土産をたくさん買っている姿に呆れて、

外で、待つことにした。

この メモ帳、買おうかな・・・
ちやうど欲しかったんだ・・・

蘭が、お気に入りメモ帳を買おうとした！

そして、手を伸ばして、メモ帳を取ろうとした・・・

その時だった・・・

蘭と同じくメモ帳を

取ろうとした人が、いた

お互いに誰か確認するために

顔を見た。

「き、君は誰？」

「あなたは、誰なの？」

思わず、

お互いに名前を聞いた。

「ボクは、越水七槻・・・

一応、高校生探偵だよ・・・

高2！

君は？」

「私は、毛利蘭

一つ年下の高校1年生！

越水さんって探偵なんですか？

実は、私の幼なじみも探偵なんです！」

「へえ・・・

どういう人なんだ？」

「新一・・・

工藤新一です！」

「それにしてもボク以外に探偵をやっている人がいるんだな。」

「とんでもないです！

勝手に新一が、自分で探偵って言っているだけなんです・・・
解いた事件は、まだ2つだけなんです・・・」

「へえ・・・

工藤新一か、一度会ってみたいなあ・・・」

「いますよ・・・

新一も売店にきたから・・・」

「じゃあ、紹介してください！」

「いいですよ．．
こっちにいます！」

♪♪♪♪♪

「あ、電話だ．．．
ちよつと待っててね．．」

七槻は、電話に出る。

『はい、もしもし．．

えっ．． はい

わかりました．．．』

何を電話しているんだろうか．．．

ちよつと気になった。

「蘭さん、ごめんなさい！
ボク、事件の調査を手伝え

と言われたので、

事件現場に行つてきます！
本当にごめん．．．」

七槻は、申し訳なさそうに謝った。

「いいですよ．．

新一と似てますね…

事件になると、現場に行きたくなる
好奇心が、あるところが．．．
でも、それも長所なんです．．．」

「ごめんね…

あまり、しゃべらなかったね…

でも、蘭さんのことを覚えておくよ．．」

七槻は、それだけ言い残して、

売店から去った。

越水さん、

ありがとうございます。

私も越水さんのことわすれません！

些細な会話で終わったが、

土産を買うよりも、

越水さんとしやべったことが、

福岡の思い出・・・

私だけの思い出・・・

あれから私は、例のメモ帳を買った。

それを使うたび、

越水さんと会ったことが蘇ってくる。

一年後、

彼女は、殺人を犯した。

それが、彼女だとわかったとき

私はとてもショックだった・・・

（後書き）

ブータロの相棒です・・・
初めての投稿で不安です・・・
読んでくれた方ありがとうございます！
評価もしてくれれば嬉しいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1144b/>

福岡の思い出

2010年10月28日06時39分発行